

OTSUMA Ranzan

「大妻らしく…嵐山生らしく…そして自分らしく」

らしくあれ



Otsuma Ranzan Junior and Senior High School

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 558 0493-62-2281 大妻嵐山中学校高等学校

祝入学！「大妻に学ぶ」覚悟と自覚 … 君たち嵐山生は？ …

入学式を終えて新学期も始まり、新学年並びに新入生も嵐山生として、「ホット一息」という気持ちではないでしょうか。こうした中で、君たちには、大妻嵐山生としての覚悟と自覚についてあらためて感じてほしいと思います。

大妻学院は理事長の言葉にあるように本学院が新たな中高を擁する女子総合教育機関として発展した背景には、コタカ先生の「女性の自立のための女子一貫教育」という理想が社会に受け入れられたからこそであるとしています。



また、ここでいう「女性の自立」とは「人間としての自立」を意味するもので、自己の尊厳を守る形での自立となります。

これは、突出したエリートでもない、ごくごく普通の女性が社会の中で自分自身を確立する。そのために何ができるか、何をしなくてはならないのかを考え続けることを意味しているのです。また、本校では、学祖・大妻コタカ先生が残した言葉として、「らしくあれ」を掲げ、自分らしく、将来に向かって進んでいくために四つの力を身に付けることを目指しています。



「らしくあれ」についてコタカ先生は、次のように説明しています。「一人の人間は一日の内に実に多くの役割を持っています。自分は一人の人間でも、相手に応じ、場所により、地位によって、他のどれとも同一でない役割を、次々と果たしていくわけですが、そのそれぞれに『らしくありたい』とこれが、

私の希望なのです。（中略）「らしくありたい」とする誠意は、自ずと相手にも通じて、その関係は和やかになると思います。」このようにコタカ先生は、まず他者への配慮や態度の大切さを指摘しているのです。

また、コタカ先生は「人間らしい人間、女性らしい女性、そしてあくまでも自分らしい個性を持った自分を養い育てていきたいものです。」とも述べて、「らしくある」ために自分の個性を育てることの重要性を説いています。そしてそれは必然的に自己の反省・工夫などにつながり、新しい自分を発見し、新しい個性を創造することになるのでしょう。多くの体験や経験を通じて自分自身を振り返り、自分を高める。こうした内省を踏まえて「人間らしくあれ」「人間性を実現せよ」というメッセージでもあるのです。

それでは、ここでいう「人間らしい生き方」とは何でしょうか。人は、当たり前ですが家族や友人など様々な人たちに支えられて生きています。こうした社会や他者から受けた恩恵に報いることなのではないでしょうか。私たち嵐山では、こうした感謝の気持ちをもった「人間らしい人間」の育成を目指しているのです。

このように、いわゆる「大妻精神」は、皆さんの先輩方からずっと引き継がれている伝統であり、本校の校風、そして本校生徒の資質を象徴している精神となっています。

これは、嵐山生となる皆さんが好むと好まざるとにかかわらず、受け継いでいく伝統です。皆さんには、このように大妻で学ぶ責任と自覚をもって「人間らしい人間」「自分らしい個性を持った気品ある行動がとれる嵐山生らしさ」を身につけることで「大妻に学ぶ」ことを誇りとしてもらいたい。

ここに集う君たちは、いろいろな理由はあるにせよ、大妻嵐山を志望してきたのです。たまたまではない、必然としてここにいるのです。ある意味で皆さんは「大妻に学ぶ」同志と言えるのでしょう。そして、具体的な目標は

個々それぞれに異なっても、大妻嵐山生として共有していかなければならない大妻精神を大切にして、「嵐山生」として「らしさ」を発揮してください。皆さんの更なる飛躍と活躍を心より願っています。

歓迎!新入生「ようこそ、嵐山へ」…「新入生歓迎会で嵐山流おもてなし!」

入学おめでとう。生徒会が中心となって新入生歓迎会が開催されました。各部活動の紹介やパフォーマンスの披露など新入生にとっては、とても新鮮なおもてなしだったのではないのでしょうか。

嵐山での学校生活の充実のため、自身の成長のためにも「嵐山ならできる」をモットーに新たな自分への挑戦にチャレンジしてほしいですね。



飛び立て世界へ ■エルサルバドルってどんな国?…嵐山のグローバル活動・大使館訪問



コロナ禍で国際交流など様々なグローバル活動が中止となる中で本校のキャリア同好会がエルサルバドルの大使館を訪問しました。

ちなみに、エルサルバドルってどんな国か知っていますか?実は中央アメリカの小さな国。太平洋のビーチ、サーフスポット、山の多い自然で知られています。コーヒー農園、熱帯雨林、滝、週末に開かれるフード フェスティバルで知られるファアユアなどの町や鮮やかな壁画のあるアタコには、ルータ デ ラス フローレスと呼ばれるルートが通っています。また、火山の麓に位置する首都のサンサルバドルには、数多くの美術館や国立劇場があります。当日は、ディエゴ・アレハンドロ・ダルトン・ロサレス駐日エルサルバドル大使から、エルサルバドルに関する様々な情報をいただきました。日常的に私

たちにはあまり馴染みのない国かもしれませんが、多文化共生、ダイバーシティのグローバル社会では、多くの学びを感じ取ることができたようです。今度、嵐山生の皆さんにも是非情報提供をお願いしたいものです。

自然観察会 …大妻嵐山に「ダーウィン?…が来た」…

4月16日(土)、中学1年生が自然観察会を行いました。観察会では、オオムラサキの幼虫探しから、大妻の森、オオムラサキの森・蝶の里公園の散策など嵐山周辺の自然をボランティアのネイチャーガイドの方々からの説明を受けながら、じっくりと自然体験をするものです。



これから、長い幼虫期感がようやく終わり、オオムラサキが蝶に成長していきます。羽化をした成虫は色鮮やかで大きな羽根を堂々と羽ばたかせるその姿は、まさに国蝶と呼ぶにふさわしい蝶です。ぜひ国蝶オオムラサキへの羽化を楽しみにしてください。